

2004年度前期 (8)

2004/6/11

戦争と国家、そしてナショナリズム

福田 宏 hfukuda@juris.hokudai.ac.jp

<http://hfukuda.cool.ne.jp/hokudai04a/>

(法学部 321号室・706-3784)

(相談時間： 6/17(木) 15時～17時)

I. 自由討論

- ・ マイケル・イグナティエフ, 中山俊宏訳
『軽い帝国 —— ボスニア、コソボ、アフガニスタンにおける国家建設』 風行社, 2003.

II. 映画と政治学

- ・ 《アフガン零年》 セディク・バルマク監督, 2003年. シアターキノにて 6/12より

III. 前回の補足 —— 「バカの壁」と「文明の衝突」と「2ちゃんねる」?

- ・ 養老孟司『バカの壁』新潮新書, 2003.
- ・ サミュエル・ハンントン著, 鈴木主税訳『文明の衝突と21世紀の日本』集英社新書, 2000.

IV. 配付資料 —— 各紙の「論壇時評」

- ・ 朝日 2004/3/22 (夕), 藤原帰一「論壇の正体」
- ・ 朝日 2004/4/28 (夕), 金子勝「イラクとパレスチナ」
- ・ 道新 2004/4/27 (夕), 宮崎哲弥「イラク暫定政権移行に暗雲」
- ・ 道新 2004/5/31 (夕), 宮崎哲弥「自己決定封じる自己責任論」
- ・ 読売 2004/4/27 (夕), 時田英之「米国と国連のはざままで」
- ・ 読売 2004/5/26 (夕), 時田英之「『ひとりNGO』の自己満足」
- ・ 毎日 2004/4/28 (夕), 松原隆一郎「広がる所得の不平等」
- ・ 毎日 2004/5/27 (夕), 中西寛「一人歩きした『自己責任』論」

V. 予告

- ・ 6/18 旧ユーゴスラヴィア紛争についての講義
- ・ 6/25 「論壇」を題材とする自由討論 —— 日本外交をテーマとして

VI. 第2回レポート締切は6月25日(金) —— 『軽い帝国』を題材として

VII. 最後の指定文献 —— 7月上旬使用予定

- ・ 最上敏樹『人道的介入 —— 正義の武力行使はあるか』岩波新書(新赤 752), 2001年.